

Vol 1

* 毒の王 1

最強の力に
覚醒した俺は
美姫たちを従え、

飛情ハレムの
主となる

[著] レオナールD

[イラスト] をん

HJ文庫

「その通りよ、小僧。
ようやく気付いた
ようじゃのう」

「『毒の女王』……!」

直感的に悟った。彼女こそが『毒の女王』。
かつて魔王と呼ばれて恐れられ、
ジェイド王国北部を絶望の底に追いやった最強の怪物。





レンカ

ミリーシアの護衛を務める女性剣士。やや堅物で最初はカイムを警戒していたが――？

ティ

カイムの生家に仕えるホワイトタイガーの獣人女性。呪いに苦しんできたカイムにとっては唯一心を許せる存在。

カイム

身体中を毒に侵された『呪い子』として忌み嫌われてきた少年。自らに巣食っていた呪いを克服し、毒の王として覚醒する。

ミリーシア

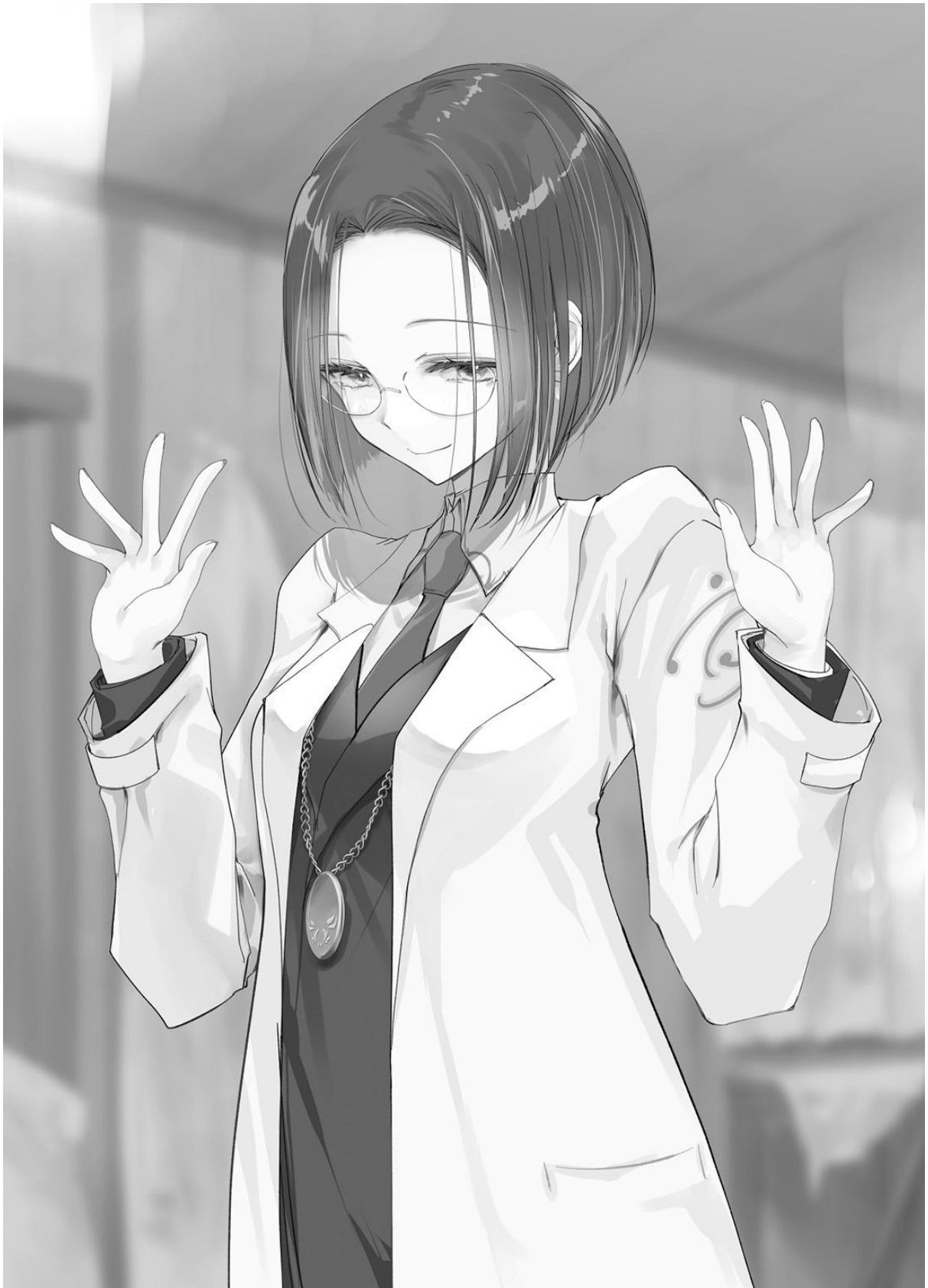
ガーネット帝国出身である貴族の少女。レンカと共に野盗に襲われていたところをカイムに助けられる。

「んあっ、ふあっ、はうっ……
ダメですの、カイク様。
そんなに乱暴にしては……！」

カイクは下から両手を伸ばし、
二つの乳房を鷺掴みにした。
まるで猛禽類が獲物を
捕まえるように揺れる肉塊を
ガッチリと捕らえ、グイグイと揉みしだく。























Vol 2



毒の王

2

最強の力に
覚醒した俺は
美姫たちを従え、

発情ハレムの
主となる

〔著〕レオナルドD

〔イラスト〕をん

HJ文庫



「カイク様、どうですか？
似合いますの？」

現れたティーの姿を目にして、
カイクは息を呑んだ。
赤い下着が白髪のティーに
恐ろしくマッチしていた。
柔らかそうな双丘が、
形の良いラインを描く丸い尻が、
扇情的な下着を身につけたことで
裸以上に興奮させてくる。





「…………強いな、あの女」

カイムは感心混じりの溜息をつく。
憲兵二人をあっさりと
殺傷した動きも見事だが……
カイムのわずかな闘気を感じ取って、
こちらを振り返ってきた。





















Vol 3

毒の王

3

最強の力に
覚醒した俺は
美姫たちを従え、

発情ハレムの
主となる

[著]レオナルド
[イラスト]をん

HJ文庫



ん

幼女がカイムの傍らまで歩いてきて、
右手を掴んでくる。
ぼんやりとした眼差しで
見上げてくる彼女が
何を考えているのか全くとして
わからなかった。



ティー

子供の頃からカイクに
仕えるホワイトタイガー
の獣人女性。

レンカ

ミリーシアの護衛を
務める性癖こじらせ
気味な女性剣士。

ミリーシア

カイクに身も心も
捧げるガーネット帝国の
第一皇女。



「貴方はどうするの？
シャワー、浴びる？」

部屋に備え付けられたシャワーを浴びて、
シャロンが寝室に戻ってきた。
熟れた身体、しっとりとした桃色の肌に
バスローブを纏っただけの格好であり、
香り立つような大人の色気を放っている。



















